

**令和 8 年度 第 1 回八王子市多文化共生推進評議会
議事要点録**

開催場所	生涯学習センター（クリエイトホール）11 階 第 7 学習室
開催日時	令和 8 年（2026 年）7 月 3 日（金） 午後 6 時 30 分～8 時 00 分
出席者	木村座長、角田評議員、奥野評議員、北島評議員、柴山評議員、周評議員、華山評議員、 花輪評議員、藤好評議員、松本評議員
配布資料	評議会次第 【資料 1】 八王子市多文化共生推進評議会開催要綱 【資料 2】 八王子市多文化共生推進評議会 評議員名簿 【資料 3】 八王子市の外国人の状況 【資料 4】 八王子市の取り組みについて 【資料 5】 第 2 期八王子市多文化共生推進プランに基づく取組状況について 【資料 6】 多文化キッズサロン事業について 【資料 7】 留学生支援事業について
公開区分	公開
傍聴者数	1 名

1. 八王子市の外国人の状況について

資料 3 について事務局より説明。

【評議員】

国籍別に在留資格の傾向はあるのか。

【事務局】

中国籍は留学が多い傾向にある。またベトナム国籍・ミャンマー国籍・ネパール国籍は労働関係の在留資格が多い傾向にある。

2. 八王子市の施策および第 2 期多文化共生推進プランに基づく事業の取組状況について

資料 4、5 について事務局より説明。

【評議員】

予防接種など重要なお知らせについて日本語が読めない場合は、外国人はどのように対応しているのか。

【事務局】

八王子国際協会に相談することで内容を案内できる。

【評議員】

外国人が市役所での手続きをしたいにも関わらず、市役所職員に案内され国際協会に訪れてしまうケースが一定数ある。市役所では外国語を話せる職員が対応し、最低限度の聞き取りは行っていただきたい。

【事務局】

市役所に日本語初級の外国人が訪れた際は専門員が対応してはいるが、各窓口等で誤って国際協会を案内している可能性はある。改めて各所管に正しい聞き取りを周知する。

【評議員】

町会単位でも外国人受け入れの取り組みを行っている。昨年実施した地域の防災訓練や運動会の周知ポスターには日本語に加え英語も併記した。

【事務局】

地域の多文化共生には町会自治会の協力が不可欠であるとする。今後とも地域や留学生と協働して多文化共生の周知をしていきたい。

【評議員】

市役所職員がどの外国語を話せるかは名札等で明記しているのか。

【事務局】

職員がどの外国語を話せるのか内部情報としては把握しているが、周知はできていない。現在はタブレット端末を利用した通訳サービスをメインで使用している。

【評議員】

Google 翻訳のリアルタイム翻訳も近年は実用的であるとする。

【事務局】

アプリ翻訳はマイナー言語の翻訳精度に課題を感じている。

【評議員】

総合案内カウンターに「指差し案内図」を置いて組織名や手続きを明示し、コミュニケーションを促進してはどうか。

【事務局】

組織改正等が重なり、最新版に更新されているか直近では確認できていなかった。更新状況を確認の上、やさしい日本語での簡易的なフローを明示することで、案内の間違いを減らせるのではないかと。

【評議員】

外国人世帯にお金がなく学校の制服や体操服を入手できない世帯があり、子ども食堂で古着をプールして提供している。また明らかに学校の時間帯に市内を歩き回っている外国人の子どもがいるが、どうすべきか。

【事務局】

いただいた状況については関係部署にも共有させていただく。

3. 多文化キッズサロンについて

資料6について事務局より説明。

【評議員】

東京都が盛んに補助金を交付しており、多文化共生についての条件を盛り込めば、イベントや運動会に補助金が出る。八王子も多文化共生に力を入れていることはここで改めて知った。

【評議員】

9/27 に高校生の進学に向けた多言語ガイダンスを八王子国際協会で実施予定。日本語を母語としない世帯であっても高校進学してほしいと思っており、八王子国際協会では各種言語で資料を用意している。ぜひ希望の方がいたら、国際協会を案内してほしい。

なお、日本では高校無償化となったが、外国人の場合は条件があり、ビザの条件をクリアしたら無償化となる。

【評議員】

南大沢のキッズサロンではボランティアの人数に対して受講者が少ないため、対策を検討中である。保護者が仕事等で子どもを送ることができない時があるので、南大沢駅まで学生が迎えにいくなど。また、日本人の子どもたちもキッズサロンで外国にルーツがある子どもたちと一緒に勉強できてもよいかもしれない。

【事務局】

東京都からの回答で、多文化キッズサロンには外国ルーツの子どもが半分以上である必要があるが、それを満たせば可能。

【評議員】

ほかの自治体のキッズサロンの課題や設立背景を共有してもらうことはできるのか。

【事務局】

多文化キッズサロンの担当者会議等の中で、情報収集は可能。

4. 留学生支援事業について

資料7について事務局より説明

【評議員】

だんごまつりは今年もあるか。助っ人留学生が毎年イベントに参加している。

【事務局】

だんごまつりは今年も実施予定である。各イベントの周知は今後もより一層力を入れて広報したい。

【評議員】

町会自治会にはどのように周知しているか。

【事務局】

町会自治会の常任連合会に情報提供し、その後個別に各自治会から問い合わせがくる形である。

【評議員】

桑都ペイは使える場所が少ないので、今後対象が増えるといいのだが。

【事務局】

桑都ペイを使える場所の開拓や周知も課題だと考えている。

5. その他意見

【評議員】

商工会議所と日本語学校と連携して、市内の現場で職場体験をしてみるのはいかがでしょうか。

【評議員】

八王子市内の現場で職場体験をして、外国ルーツの子どもや留学生の市内定着を促してはどうか。

【評議員】

八王子市以外の多文化キッズサロンを実施している自治体との情報交流はあるか。キッズサロンの課題等を共有できると参考になるのではないか。

【事務局】

自治体同士の担当者連絡会や、つながり創生財団の催すイベントにより随時情報共有している。

【評議員】

学校から配られるプリントが近年ではアプリ経由のPDFによる配布となっているなど、ハイテク化によりかえって一緒に読解するなど外国ルーツの世帯への支援が難しくなっている。